



松江市社会福祉法人

連絡会だより発行にあたり

代表幹事 佐草英利



「松江市社会福祉法人連絡会だより」の発行にあたり一言、挨拶申し上げます。

まずは、今年2月に開催しました松江市社会福祉法人連絡会市民公開シンポジウムにつきまして、たくさんの方の皆さんの皆様におでかけいただきましたこと衷心より感謝申し上げます。当日は、NPO法人抱樸理事長 奥田知志様による基調講演に併せ当連絡会の今後の事業展開についてお知らせしたところでしたが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、すべて先送りしなければならぬ状況となりました。

つきましては、会員の皆様との繋がりの一助となればと本通信を発行することといたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

さて、4月7日より発令されていた「緊急事態宣言」は、現時点で全ての都道府県において一旦解除されましたが、松江市におきましても依然として予断を許さない状況であることに変わりはありません。各法人様の事業所でも日々緊張感の中で過ごしていると思いますが、このようなときにこそ社会福祉法人が果たす役割も大きいと考えます。感染予防対策に加え自粛令や利用控え等により経営的、事業的に大変厳しいことと存じますが、皆様が無事にパンデミックの終息を迎えられますよう心から願うところです。

最後となりますが、連絡会事業がなかなか進まないことをお詫びしますとともに、また再び手を取り合って地域のために力を合わせる事が出来ますよう心より願ひまして挨拶とさせていただきます。

『松江市社会福祉法人連絡会今後の取組み』

松江市社会福祉法人連絡会では、選択事業として3つの内容をあげ、それぞれ法人ごとにできることを選択していただき、今後「まつえワンラブアクション」として取組みを進めていきます。

1. 「ふくしなんでも相談所」窓口設置
2. 講師派遣事業、物品・機材等の貸出
3. 要支援者へのトイレの提供



★ふくしなんでも相談窓口設置については、看板の設置と相談を受けていただく方の研修を開催する予定です。
地域の方からの困りごとを受け止め、相談内容に応じて専門機関へ繋ぎます。

イメージです



↑ 福祉学習へ講師として参加した様子

★講師派遣事業・物品・機材等の貸出は、自治会や町内会等の事業、小中学校の福祉学習等に出向いて講師として活動していただいたり、物品や会議室の貸出を依頼に応じて実施します。
これらの情報を、今後はサポートガイドにまとめます。

★要支援者へのトイレ提供については、こういった冊子へ情報を掲載すると広く地域の皆様へ周知できるか、今後検討を続けていきます。



令和二年二月二十一日金松江市総合福祉センター大ホールを会場に「市民公開シンポジウム」を行いました。
講師には、NPO法人抱樸理事長 奥田知志氏をお迎えし、「いのちに意味がある」と私たちは何を大切にしてきたのかをテーマに基調講演をいただきました。
続いて、シンポジウムでは、加盟法人の社会福祉法人島根ライトハウスと社会福祉法人みずうみからそれぞれ実践報告会を行いました。市民の皆様を含め関係者一五〇名に参加いただきました。

市民公開シンポジウムを開催しました。

ありがとうございました。

5月15日～31日までの間、松江市社会福祉協議会で実施された、「ひとり一品運動」へのご協力をお願いしたところ、多くの会員法人より品物のご寄付をいただきました。
ご協力ありがとうございました。



『令和2年度の予定』



下記ことについて今後進めていきますが、コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催時期については今後状況を見ながら検討します。

- ・総会の開催
- ・「ふくしなんでも相談窓口」設置のための研修
- ・講師派遣、物品・機材等貸出事業のための調査
- ・活用サポートガイド作成

発行：松江市社会福祉法人連絡会事務局
(松江市ボランティアセンター)

TEL 27-8388 FAX 24-1020

E-meil:volunteer@shakyou-matsue.jp